

新型インフルエンザ

新型インフル、備えは万全か

## サプライチェーンを守れ 手探りの中小企業

コメント閲覧(0件) / コメント投稿 / 更新日: 2009-06-02

この記事への最新コメント

コメントの投稿をお待ちしております。

お申込みは0120-83-4946  
24時自受付中です。  
購読のお申し込みはこちら

日経ネットPlus 新着記事

**サプライチェーンを守れ 手探りの中小企業**  
【新型インフルエンザ / 新型インフル、備えは万全か】  
(2009/06/02)

**新段階迎えた「ネットとの融合」**  
【IT社会の歩き方 / 「ネット融合」新時代】  
(2009/06/02)

**産業廃棄物の不法投棄 減らない未処理分**  
【グローバルView】  
(2009/06/02)

**世襲制限、与野党に温度差**  
【ニュース交差点 / 万機論 日本をどう問う】  
(2009/06/01)

**小学生を“農業漬け”に**  
【ニュース交差点 / 小学生を“農業漬け”に】  
(2009/06/01)

**インフレ目標、容易ならず・ネットで経済教室**  
【経済教室・エコミクストレンド】  
(2009/06/01)

**経済危機の勝者は誰か 地球羅針盤**  
【地球羅針盤 / 中国は世界を救うか】  
(2009/05/29)

**重み増す企業の社会的活動**  
【一橋ナレッジフォーラム / 企業に求められる責任とは】  
(2009/06/01)

**洗濯のコツ ゲームで楽しく学ぶ**  
【おすすめサイト】  
(2009/06/02)

**難解さを恐れぬ独特のリズム**  
【初めての俳句・短歌】  
(2009/05/30)

**麻生VS鳩山、初対決の軍配は?**  
【日本の政治 / 政治漂流】  
(2009/05/28)

フォーラム 注目のテーマ

**新型インフル 手探りの中小企業**  
ニュース交差点

新型インフルエンザの感染拡大は、中小企業の事業継続に大きな影響を与えかねない。再び感染が広がる可能性がある秋以降に向け、どう備えたいらいいか。識者3人に聞いた。

新型インフルエンザ対策として  
事前に準備すべき事項

危機管理体制	経営者をトップとする対策会議の準備 新型インフルエンザ対策を所管する部署・担当者の決定 経営者不在時の意思決定代行者の選定 従業員、取引先、保健所など緊急連絡網の整備
情報収集と周知	政府、自治体、保健所など情報入手先のリスト化 情報入手方法の従業員と家族への周知
感染予防策	マスク、洗浄液、消毒薬などの備蓄 感染の疑いのある人が出た場合の対応手順の策定 従業員と家族への予防策の教育
人と人の接触抑制	会議の削減 在宅勤務、時差出勤、自家用車・自転車・徒歩による通勤 複数班による交代勤務（スプリットチーム制） 来客の立ち入り制限
重要業務の選定と要員確保	経営上継続すべき重要業務の選定 工場や営業所など事業所ごとの対応策の策定 重要業務に携わる要員確保計画の策定 担当外の業務の訓練（クロストレーニング）と手順書の準備 サプライチェーンや利害関係者との調整
中断する業務の選定と代替策	緊急性の低い業務の選定 業務停止に伴う影響の把握と影響を軽減するための代替策の検討 業務再開の判断基準と再開時の関係者への連絡方法の検討
事業継続計画（BCP）の策定と訓練	欠勤率40%、自社内で感染者の発生と接触者の自宅待機を想定したBCPの策定

「社長、会社を休ませてもらえんやろか」。兵庫県、大阪府で新型インフルエンザの感染が広がった5月18日、大阪府東大阪市のねじ商社、ツルガの敦賀伸吾社長は頭を抱えた。府内の小学校や保育園が相次いで休校・休園となり、7人いるパート社員の大半が休暇を希望したからだ。

正社員3人の同社にとって、パート社員は重要な戦力。一度に大勢休まれると、業務に支障が出る。昼休みを3時間に延長し、いったん帰宅できるようにするなどして、何とか出勤してもらった。

それでも2人が欠勤、出荷作業が滞った。敦賀社長は2日程度納期が遅れることを取引先に説明・謝罪する電話に追われた。翌週には学校や保育園が再開し、業務は平常に戻ったが、「休校が長引いたら人材派遣会社に依頼するしかなかった」と振り返る。

従業員が直接感染しなくても、学校の休校や家族の感染などで、従業員の欠勤が相次ぐ可能性がある。社員数が少なく、子供を持つ母親のパート従業員の比率の高い中小企業にとっては、事業に大きな影響を与えかねない。感染が拡大したときに、どう従業員を確保するか。中小企業に突き付けられた大きな課題だ。

■「手順書」を作った企業も

プリント回路製造の山下マテリアル（東京・品川、山下充意社長）は、神奈川県座間市の製造部門を対象に新型インフルエンザ対策の「手順書」を策定した。約100人の従業員のうち、欠勤者が10人程度の場合は事務部門からの応援で対処。欠勤が20人を超えたら一部業務を休止して、人員を重要業務に再配置することなどを明記した。

「感染が拡大した場合に備えて、あらかじめ計画を練っておくのは重要だ。取引先からも災害時の対処法について、回答を求められている」と藤谷侑一郎執行役員。当初は地震対策が中心だったが、インフルエンザ対策も追加した。

こうした、事前の備えは中小企業でも欠かせない。だが、1社だけでは限界がある場合がある。

化学品メーカーの日本ポリテック（東京都八王子

市、中山隆社長)は5月中旬、「在庫確保のお願い」と題した文書を取引先にファクス送信した。同社が製造するプリント基板の回路保護材は、携帯電話の部品などに不可欠。新型インフルエンザの感染拡大で欠勤者が増えた場合に備えて、販売先に買い増しを要請したのだ。

だが、ファクス送信後も受注の際立った増加はなかった。逆に「在庫をそちらで持って欲しい」との電話が取引先からあった。要請に従い在庫を積み増せば、その分コストが発生する。中小企業にとってハードルは高い。

#### ■「対策勉強会」は超満員

新型インフルエンザにどう立ち向かうべきか。5月下旬、東京商工会議所が東京都庁で開催した「新型インフルエンザ対策勉強会」には大手企業の担当者に交じって、中小企業の担当者も多数詰め掛けた。「200人の定員に対し、それを超す応募があった」と担当者は話す。勉強会では商工会議所側が対策ガイドラインを説明。その後のワークショップでは各企業のインフルエンザ対策担当者が悩みをぶつけ合った。

「緊急時の連絡方法、マスクの備蓄など準備が全くできていない」「感染者が社長の場合と一般社員の場では、対応は変えるべきだろうか」。新型インフルエンザへの対策は、ほとんどの企業がまだ手探りだ。

#### ■中小企業の問題にとどまらない

こうした中小企業が抱える問題の解決は、実は大企業にとっての課題でもある。部品を供給する中小企業が立ち行かなくなれば、大手企業の活動にも支障が生じる。大企業を頂点とする企業群、サプライチェーン全体の問題としてとらえることが重要だ。

「欠勤が増えた場合の部材供給の確保に向けて、対処を考えておいてほしい」。世界保健機関(WHO)が新型インフルエンザの警戒水準(フェーズ)を「5」に引き上げた4月30日(日本時間)、富士通は重要な取引先にこう呼びかけた。

富士通ではサプライチェーンを維持するため、取引のある中小企業の事業継続計画(BCP)策定を支援している。重要な取引先には半年に1回、調査票を送って問題点を把握する。解決策を協議するため、相手企業を訪問することもある。富士通の子会社で、BCP策定を支援する富士通総研の伊藤毅BCM事業部長は「中小企業のモチベーション(やる気)を上げるには、こうした大企業からの要請と支援が必要」という。

災害時の資金繰りなど、中小企業が抱える課題には独力での解決が難しいものも多い。感染が再び拡大する可能性がある秋以降に向けて何をすべきか。東京商工会議所で新型インフルエンザ対策を担当する小塚浩地域振興部副部長は、「今回の新型インフルエンザ感染拡大の記憶が残るうちに、取引先の大企業、行政、金融機関などと一緒になって問題点の把握と訓練を重ねるべきだ」と指摘している。

コメントを閲覧する

コメントを投稿する

訓練を通じたBCPの見直し  
東京商工会議所「中小企業のための新型インフルエンザ対策ガイドライン」より作成

#### 「ネット融合」新時代 IT社会の歩き方

「ネットとの融合」との理念で進めた楽天によるTB Sの買収は、楽天が提携を断念し、保有株を売却することで決着した。一方、新しい形の連携も目立ち始めた。新段階を迎えたネット融合の裏には何があるのか、専門家に聞く。

#### 万機公論 日本の政治を問う ニュース交差点

将来への不安が日本を覆っている。ねじれ国会のもとで機能不全に陥っていると批判を受ける日本の政治は、様々な問題にどう対処すればいいのか。政治家、識者とともに議論する。

#### 小学生を“農業漬け”に ニュース交差点

日経新聞朝刊(6月1日付)の「インタビュー領空侵犯」で日本郵船会長の宮原耕治氏が「小学生を?農業漬け?に」と主張した。農業を理解するきっかけになるし、将来の担い手づくりにもなるとの趣旨だ。ネットPLUSでは2人の識者がさらに議論する。

#### 中国は世界を救うか 地球羅針盤

2008年9月のリーマン・ショック後の経済危機は世界秩序に変化をもたらした。新たな秩序の中心に躍り出た中国は、機動的な経済政策を駆使していち早く経済を回復軌道に乗せつつある。刻々と変わる世界秩序に中国はどう対応していくのか。中国の台頭は世界を救えるのか。中国の挑戦をミクロ、マクロ、政治の各側面から、日中両国の専門家が読み解く。

#### 子供用ケータイ、防犯機能・デザイン競う 新製品を語ろう

小中学生向け携帯電話の選択肢が増えてきた。身の危険を周囲に知らせる防犯ブザーや子供に有害なウェブサイトの閲覧を制限できる機能などを搭載。これまでにないデザインを採用したり、本体を好きな写真・イラストで飾ったりできる機種も登場した。各社の製品を専門家が比較分析する。

#### 正しく恐れる感染症 サイエンスがらざ

新型インフルエンザの感染が国内で確認されてから10日。なお感染は広がっているが、新たな発症者確認のペースは鈍り、対処法も見えてきた。いたずらに恐れるばかりでなく、新型インフルエンザなどの感染症にどう向き合うべきか、専門家に聞いた。

#### 若者はもっと日本酒を飲もう ニュース交差点

日経新聞朝刊(5月25日付)の「インタビュー領空侵犯」で大塚ホールディングス副会長の大武健一郎氏が「若者はもっと日本酒を飲もう」と主張した。日本酒は日本文化の象徴との趣旨だ。ネットPLUSでは2人の識者がさらに議論する。

#### BDレコーダーに新機能が続々 新製品を語ろう

ハイビジョン映像を高画質のまま記録できるブルーレイ・ディスク(BD)。シャープの「BD-HDW35」はデジタル放送の映像データをハイビジョン画質のまま効率よく圧縮する方式を採用。ソニーの「BDZ-A950」は録画した映像の携帯性を高めた。

#### GDP、戦後最大の減少 日経エコノミストフォーラム

1-3月期の実質経済成長率は年率換算でマイナス15.2%と戦後最大の減少率となった。昨秋以降の世界的な金融危機による輸出の落ち込みが拡大、設備投資や個人消費など内需も減少幅が広がった。回復の道筋は見えるか、識者に聞いた。